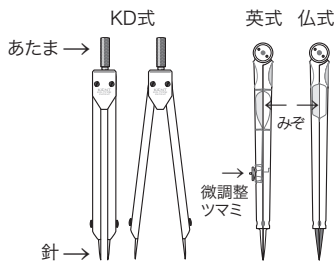


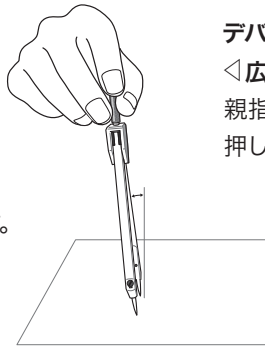
資料：デバイダの使い方 デバイダは長さを計る、移す、分割をする用具です。

デバイダの名称



デバイダの持ち方

人差し指であたまをおさえ紙に対して少し右に傾けると回しやすくなります。(左利きは左に)



デバイダの幅の調節

◁広げる▷

親指と中指で押し広げます。

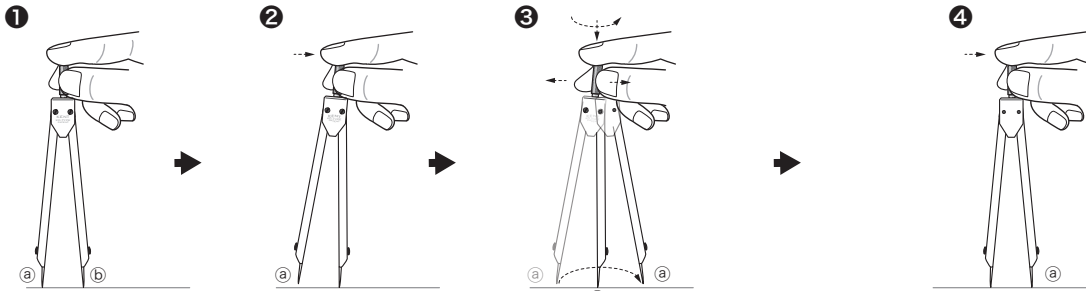


▷狭める◁

親指と人差し指で狭めます。



デバイダの動かし方(送り方)



①②③を繰り返します。軽く回転移動させるだけです。決定してからマーキング(穴あけ)をします。

① ②本の針を紙にあてます。

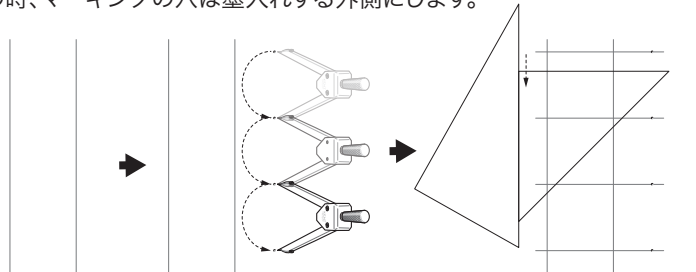
② あたまを手前に引くと①の針が浮きます。

③ ②を軸にあたまを人差し指でおさえ親指と中指で180度反時計回りに(左利きは時計回り)回転させます。

④ あたまを手前に引くと2本の針が紙にあたります。

長さを計る、移す

針を定規、または計る物にあて、針を合わせてそのまま紙に移動して、針をあてデバイダのあたまを軽く押し付け、紙面に穴をあけます。同じ寸法で分割するなら上記の動かし方をして①②のタイミングでマーキング(穴あけ)をします。穴は斜め横からの点光源だとよく見えますが、蛍光灯などの均一照明の場合は見づらいので、少し強めに押します。この時、マーキングの穴は墨入れする外側にします。

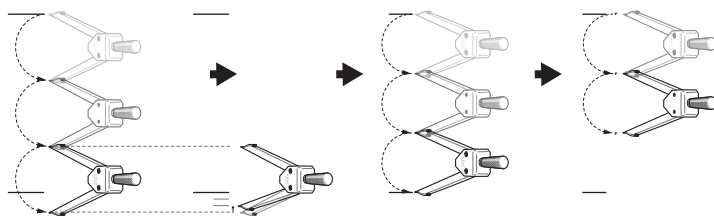


この幅をデバイダをあてて計ります。

デバイダを回転移動しマーキングします。

三角定規の送り定規で線を引きます。

分割する(例えば3分割)



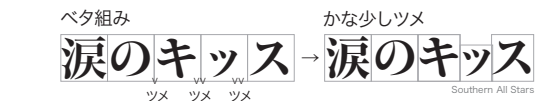
初めはおおよそあててみます。(穴はあけません)

余分だった長さの1/3(3分割なので)だけデバイダを狭めて調節。

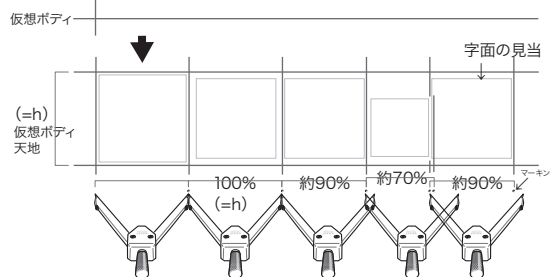
繰り返し確認して(穴はあけません)

確認が終わったらマーキングします。(穴あけ)

文字割りする



仮想ボディ 始めに仮想ボディの天地ラインを引きます。



hの長さでデバイダをあてて、漢字とかなの「の」を100%正方形で、左右幅の小さい「キ」「ス」を90%くらい、促音の「ッ」は70%くらいで割り付けてみました。「ッ」「ス」は少し食い込む感じです。かなの大きさはhを基準におおよその見当です。

